

戦後 76 年 思いを馳せ冥福を祈る 戦没者・殉職者合同追悼式を開催

11月18日、総合交流センターで行われた戦没者・殉職者合同追悼式に53名が参列し、黙とうを捧げて亡くなられた方々への冥福を祈りました。遺族会の久保幸雄会長は「尊い命と苦難の歴史の上に築かれた平和を引き継ぐことが使命」と追悼の言葉を述べ、遺族や関係者が献花台に菊の花を手向けて追悼しました。



今年で終戦から76年を迎えました。悲惨な歴史を風化させず二度と同じ過ちを繰り返さないためにも伝え続けていく必要があります。

将来の夢に向け漫画ワークショップ開催 プロから絵の描き方のコツを学ぶ

11月6日、漫画や絵を通じて将来の選択肢を広げてもらいたいとMIRAI創生協議会が漫画ワークショップを開催し、高校生以下31名が参加しました。人物の描き方やオリジナルキャラクター作成などプロの技を伝授。参加した川口梓希さんは「いつも絵を描いているが、今日からはもっと上手に描けると思う」と話していました。



「絵が上達するコツは毎日絵を描き続けること」と話す講師の山本漢さん。絵の仕事に就く方法を質問する参加者の姿も見られました。

法輪保育園は11月12日に実施。前日11日に予定されていた田代幼稚園幼年消防クラブの防火パレードは雨天のため中止されました。



秋の全国火災予防運動で火災予防啓発 幼年消防クラブが防火パレード

11月9日から始まった秋の全国火災予防運動に合わせ、法輪保育園幼年消防クラブの園児12名が防火パレードを行いました。「火の用心」と書かれた横断幕を手に法被姿で火災予防を訴えた園児たち。「絶対に火遊びはしません」と誓いを立てた柳田大輝くんは、先頭で拍子木を打ちながら沿道の住民に大声で火災予防を訴えました。

税を考える週間にちなんで「つなぐ税」や、日ごろの感謝を込めた「ありがとう」「人生」など4つのテーマで感謝とエールを送りました。



南大隅高校書道部がパフォーマンス エールと感謝の思いを筆に込めて

特別養護老人ホーム南松園で11月13日、南大隅高校書道部8名による書道パフォーマンスが行われました。外出機会の減った入所者や感染対策を徹底しながら奮闘する介護従事者にエールを送りたいと企画。音楽に合わせ力強く筆を走らせる生徒の姿に、入所する北山ツヤさんも「元気をもらえた」と笑みがこぼれました。

境内に積もったイチョウを手に写真撮影を楽しむ、大根占こども園の年長児20名と先生たち。お遊戯会で演じる「11ぴきのねこ」になりきり、物語同様に遠出して秋を満喫していました。



旗山神社のイチョウ色づき 見頃を迎え連日賑わう

山間地の緑に黄色が映える旗山神社の大イチョウが見頃を迎え、訪れた見物客で連日のように賑わいを見せています。「例年より1週間ほど早く色づいた」と話す前迫芳文宮司。風が吹くたび舞い上がるイチョウに「雪みたい。また遊びにきたい」とはしゃぐ鶴田結衣ちゃんは一画面黄色く染まった境内を走り回っていました。

ジョイサウンズが秋の吹奏楽演奏会 音楽で元気と笑顔を届けた2日間

結成15年の節目を迎えた吹奏楽グループ「ジョイサウンズ」による秋の演奏会が、11月21日と23日の2日間行われました。150名以上が来場した23日の田代開発センターには24名が出演し、2回のアンコールも含め全12曲を演奏。初めて参加した金子ナシさんは「生演奏の迫力を楽しませてもらった」と笑顔をのぞかせました。



小学3年生から70代まで幅広い年代で構成。錦江町の町民歌演奏ではサプライズ演出で柴立雄大さんが歌い上げ会場を沸かせました。

山や森などの未舗装路を走るトレランはアップダウンが激しく滑りやすいため、救急セットや水分補給用ボトルを装備して走ります。



第8回錦江町でんしろうトレイル開催 秋色に染まった花瀬を駆け抜ける

照葉樹の森を走る特設コースを舞台にタイムを競う第8回錦江町でんしろうトレイルが11月21日に開催されました。28kmと18kmの2コースに総勢154名が出場し、全員が過酷なレースを完走。走り終えた選手が赤く染まったもみじの下で、火照った足を川で冷やしている姿もあり、心行くまで秋の花瀬を堪能していました。